

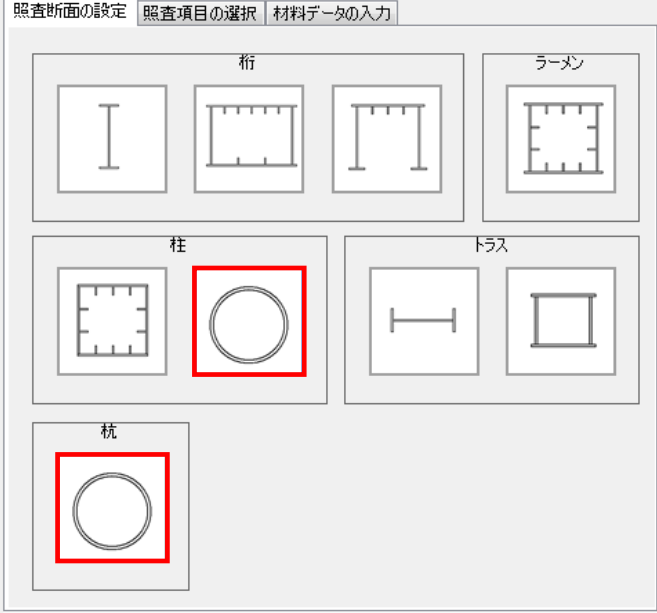
VePP-SCの更新・新設一覧

目次

バージョンアップ【時期】	ページ
(Ver.2.0-L01)⇒(Ver.2.0-L02)【2015年 8月】	p.1
(Ver.1.01-L01)⇒(Ver.2.0-L01)【2013年11月】	p.2

VePP-SCの更新・新設一覧

項番	項目	VePP - SC の主な更新・新設内容 (Ver. 2. 01⇒Ver. 2. 0-L02) 【2015年8月】	
1	出力機能に関する改良	(1)	各照査項目の照査結果表をプリンターに印刷する機能を追加しました。

項番	項目	VePP - SC の主な更新・新設内容 (Ver. 1.01⇒Ver. 2.0-L01) 【2013年11月】	
1	VePP-SC 【鋼・合成 断面性能 照査支援プ ログラム】 全般に関わ る改良	(1)	鉄道の鋼構造物および合成桁の断面性能照査に係る近年改訂された下記の設計標準への準拠を実施しました。 ①鉄道構造物等設計標準・同解説（耐震設計）（H24年9月）（以下「耐震標準」と略記） ②鉄道構造物等設計標準・同解説（基礎構造物）（H24年1月）（以下「基礎標準」と略記）
		(2)	インターネット認証をベースとしたネットワークライセンス管理システムを導入し、より安全かつ便利な使用ができるようになりました。
		(3)	Windows7やWindows8に対応しました。また、画面における直感的な操作性を向上するために、ファイルメニューに、最近使ったファイルのショートカットの追加等の改良を行いました。
2	照査断面 の追加	(1)	円形断面の鋼管柱および鋼管杭の照査機能を新設しました。 
		(2)	ウェブの高さが左右異なるトラス（箱断面）の照査が可能になるように改良しました。
		(3)	上下非対称断面のラーメン部材の照査が可能になりました。
3	座屈影響を 考慮した低 減係数に関 する改良	(1)	座屈の影響を考慮した低減係数 ρ_{bg} 、 ρ_{bl} の名称および出力項目を改良しました。
		(2)	ラーメン・柱の照査時は、「圧縮フランジの固定間距離 L_b 」、「有効座屈長 L 」をそれぞれ入力し、横ねじれ座屈による低減係数 ρ_{bg} および全体座屈による低減係数 ρ_{bg} を算出するように改良しました。
		(3)	連結部の耐荷性の照査における設計断面力 P_{jd} （断面耐力の50%）を算定する時に、局部座屈による低減係数 ρ_{bl} も考慮できるように改良しました。
4	柱（箱断 面）のy方向 曲げ照査機 能の改良	(1)	y方向の曲げ照査に関して、以下に示すように改良を行いました。これにより、座標軸（x・y方向）と断面の強軸・弱軸方向を意識せずに照査を行えるようになりました。 ・y方向の有効幅の考慮 ・y方向の曲げを考慮した腹板の板要素の照査 ・左右の腹板それぞれの板要素の照査 ・腹板および縦リブのy方向曲げに対する照査箇所の修正 ・断面の強軸・弱軸方向に応じた、横ねじれ座屈を考慮した低減係数 ρ_{bg} の考慮
5	耐力算定 等に関する 改良	(1)	断面耐力算定時の設計降伏強度に用いる着目箇所を一部変更しました。
		(2)	耐力および応力算定時の「有効幅 B_e 」および「断面欠損幅 B_n 」の考え方を精査し、それを計算のアルゴリズムに反映しました。
		(3)	負曲げ時の合成桁の中間補剛材間隔の照査における設計曲げ圧縮応力度（ σ_d ）の参照先の不具合を修正しました。
		(4)	鋼桁および合成桁の水平補剛材の剛度の照査における最大幅厚比は、1.2倍に緩和した値を用いるものとなりました。
6	JRElastic 【地震時以 外設計プロ グラム】との 連携機能の 新設	(1)	設計照査の効率性を向上するために、JRElastic【地震時以外設計プログラム】による解析結果を本プログラムに読込む連携機能を新設しました。